

2023年12月期 第118期 第1四半期 業績概要

2023年5月12日
日東精工株式会社
(証券コード 東証プライム:5957)



2022年3月
健康経営銘柄
2年連続選定

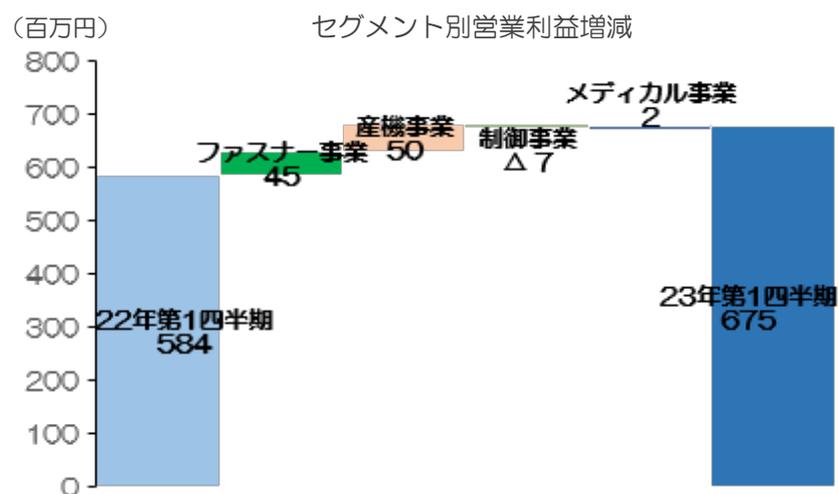
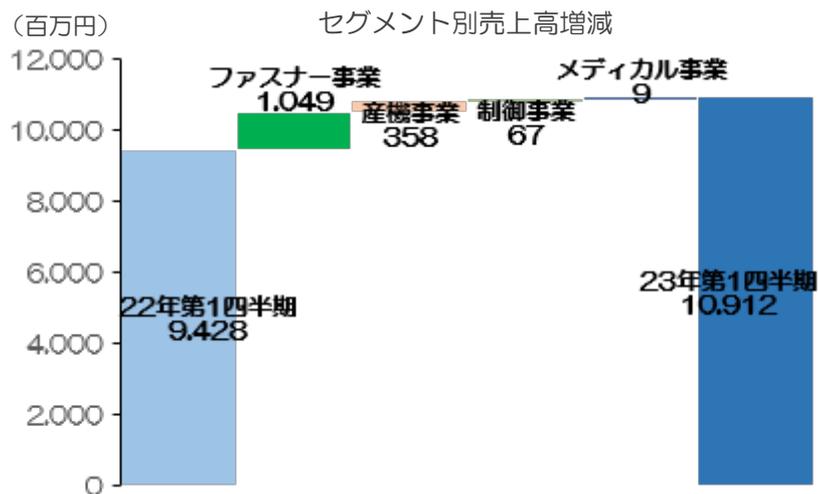
2022年3月
なでしこ銘柄
初選定

単位：百万円／％	22年12月期 第1四半期		23年12月期 第1四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	9,428	100.0	10,912	100.0	1,484	15.7
売上総利益	2,252	23.9	2,517	23.1	265	11.8
販売管理費	1,667	17.7	1,841	16.9	174	10.5
営業利益	584	6.2	675	6.2	91	15.6
経常利益	665	7.1	748	6.9	82	12.4
税金等調整前当期純利益	665	7.1	733	6.7	67	10.2
親会社株主に帰属する当期純利益	430	4.6	439	4.0	9	2.2
一株当たり当期純利益（円）	11.66		11.90			

- 主要販売先である自動車関連業界を中心に生産が回復したことや、昨年4月のケーエム精工、ピニングの連結子会社化により、前年同期比15.7%の増収。
- 利益面では、資源・原材料高騰による部品価格の値上げなどマイナス要因があったものの、利益率の高い産機事業の半導体関連設備売上の増加などにより、前年同期比15.6%の増益。
- 海外は、東南アジアは堅調に推移したものの、米国や中国の受注が低迷し、売上高は横ばい。

セグメント別売上高・営業利益（連結）

単位：百万円/%		22年12月期 第1四半期	23年12月期 第1四半期	前年同期比	
				増減額	増減率
ファスナー事業	売上高	6,931	7,980	1,049	15.1
	営業利益	365	410	45	12.3
	利益率	5.3	5.1		
産機事業	売上高	1,234	1,593	358	29.0
	営業利益	205	256	50	24.8
	利益率	16.7	16.1		
制御事業	売上高	1,260	1,328	67	5.4
	営業利益	38	30	△7	△20.1
	利益率	3.1	2.3		
メディカル事業	売上高	1	10	9	695.6
	営業利益	△24	△21	2	—
	利益率	—	—		



単位：百万円/%	22年 第1四半期	23年 第1四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	6,931	7,980	1,049	15.1
自動車	2,515	3,020	504	20.1
住宅・建築	1,258	1,825	566	45.1
電機・電子部品	1,267	1,192	△74	△5.9
雑貨	536	590	54	10.3
IT・情報機器	334	336	2	0.7
精密機器	255	261	5	2.3
医療	83	71	△11	△13.8
エネルギー関連	33	42	8	26.1
その他	650	644	△6	△1.2
営業利益	365	410	45	12.3

- 主力の自動車および住宅・建築の需要が好調に推移したことで増収増益。
- マレーシア、インドネシアなどの需要が好調に推移。
- アクロース関連は、電動部品向けに加え、他の用途への横展開を図り、さらなる売り上げ拡大を目指す。

◆自動車

- 半導体等の部品不足が長引くものの、EVやECU関連のCPグリップやギザタイトなどねじ製品に加え、二次加工部品などの需要が好調に推移。
- 自動車の軽量化を後押しする新製品ジョイスタッドなどの需要も好調に推移。

◆住宅・建築

- 子会社の協栄製作所が手掛ける大径ボルト、ケーエム精工の建築用ねじなどの需要が好調に推移し前年同期比大幅増。
- 住宅向け新製品シェアクロスなど業界特化製品の拡充を図り売上、利益の拡大に努める。

◆電機・電子部品

- 半導体不足の影響を受け低調に推移。

◆雑貨

- ゲーム機は一服感があるものの、自転車などのねじ製品が貢献。堅調な推移となる。

単位：百万円/%	22年 第1四半期	23年 第1四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	1,234	1,593	358	29.0
自動車	870	704	△166	△19.1
電機・電子部品	47	507	460	990.1
エネルギー関連	62	75	13	21.4
遊技機	49	39	△10	△21.5
IT・情報機器	29	27	△1	△6.8
住宅・建築	36	25	△10	△30.3
雑貨	1	4	2	322.6
その他	140	212	71	50.4
営業利益	205	256	50	24.8

- 自動車をはじめ半導体不足に伴う需要先の設備投資の凍結などがあるものの増収増益。
- 省人化対応、環境配慮などの製品拡販体制の強化を進め、さらなる売上増、利益創出に向けて巻き返しに努める。

◆自動車

- 国内では、CASE関連・EV車関連、海外では、新車種・新エネルギー車向けなどの設備需要があるものの、長引く半導体不足の影響などにより限定的な受注確保に留まり、低調に推移。

◆電機・電子部品

- 主要ユーザからの大型案件獲得などもあり売上高は大幅増。

◆エネルギー関連

- 「ねじ締めロボット」をはじめとする需要は好調に推移。

◆遊技機

- 生産設備の改造に伴う「ねじロボ」「多軸ねじ締め機」の需要があるものの、前年同期比では低調。

単位：百万円/%	22年 第1四半期	23年 第1四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	1,260	1,328	67	5.4
化学・薬品	274	287	12	4.5
エネルギー関連	230	218	△12	△5.4
住宅・建築	127	148	20	16.2
電機・電子部品	89	94	5	6.3
造船	71	82	10	15.2
自動車	51	53	2	5.3
医療	28	31	2	10.4
その他	390	415	24	6.4
営業利益	38	30	△7	△20.1

- 売上高は、分析装置、流量計、ジオカルテの需要が堅調に推移し微増。
- 営業利益は、原材料費の高騰に加えドイツ子会社設立のための一時的な支出の増加より減益。コスト低減ならびに販売価格の改定含めた収益性の早期改善に努める。

◆化学・薬品

- 半導体不足による影響を受けるも、各種分析装置や流量計の需要は堅調に推移。

◆エネルギー関連

- 元素計、水分計などの需要はあるものの部材不足の影響を受け売上高は微減。

◆住宅・建築

- 「ジオカルテⅣ」は年度末の駆け込み需要など好調に推移。

◆電機・電子部品

- 環境負荷低減の背景はあるものの分析装置などの需要は横ばい。

◆造船

- 船舶排ガス規制強化を受けて流量計の更新が活発。引き続き好調に推移。

単位：百万円/%	22年 第1四半期	23年 第1四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	1	10	9	695.6
医療	1	10	9	695.6
その他	—	—	—	—
営業利益	△24	△21	2	—

◆医療

- 「フリーレッド」は、医療機関への訪問自粛の緩和もされつつあり、医療機器販売会社を通じた販路拡大を継続中。厳しい要求コストに 대응する施策を進めつつ、新製品開発も視野に入れ拡販を展開中。
- 「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料」は、製造設備の整備および上市に向けた非臨床試験用試料の製作、性能試験に引き続き注力。